

臨床医科学

Clinical Medical Science

単位数：3単位

○稲垣 正俊 教授：精神医学 谷戸 正樹 教授：眼科学
長井 篤 教授：内科学第三

1. 科目の教育方針

臨床医科学の講義・演習では精神・神経関連疾患を中心にその病態、診断、治療を生体機能の面から学ぶ。最近のIT技術を駆使した形態・機能を融合させた画像診断法や客観的機能測定法の目覚ましい発達を通して、ヒトの精神機能、高次脳神経機能、視機能の診療がどのように進歩しているかを実感してもらう。

2. 教育目標

一般目標 general instructional objectives

- 1) 精神神経機能障害の心理・社会的背景について理解する。
- 2) 精神神経疾患における視機能のかかわりを理解する。
- 3) 中枢神経の機能的分化と情報統合の仕組みを理解する。

行動目標 specific behavioral objectives

- 1) 神経伝達物質と精神機能との関連を説明できる。
- 2) 視機能と神経疾患の関連を説明できる。
- 3) 精神神経機能異常発現のメカニズムを機能画像から説明できる。

3. 教育の方法、進め方

講義、セミナー、学生によるプレゼンテーション、討論によって進める。講義は主として面接授業で行うが、新型コロナウイルス感染拡大状況を鑑みて、オンライン授業に変更する場合もある。オンライン授業の場合は、Teams等によるライブ配信を中心にオンデマンドを併用する。講義方法に変更がある場合には都度、連絡を行う。

4. 成績評価の方法

すべての講義と演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

5. 使用テキスト・参考文献

- 1) Gazzaniga M, The Cognitive Neuroscience, 2014
- 2) Carlson N, Physiology of Behavior (12th Edition), 2016
- 3) 太陽紫外線防御研究委員会・編集 からだと光の事典 朝倉書店 2010年
2. 光と眼 196-232頁
- 4) Villringer A, Plank J, Hock C, et al.: Near-infrared spectroscopy (NIRS): a new tool to Equilibrium Res Vol.69 (1) 12 study hemodynamic changes during activation of brain function in human adults. Neurosci Lett 154: 101—104, 1993
- 5) Fusar-poli P, Meyer-Lindenberg A. Striatal Presynaptic Dopamine in Schizophrenia, Part I: Meta-Analysis of Dopamine Active Transporter (DAT) Density. Schizophr Bull. 39(1):22-32,, 2013

6. 教育内容

回	授業内容	担当
1	精神症状学における幻覚論	稲垣 正俊
2	脳科学における精神医学の歴史と発展	稲垣 正俊
3	網膜の光受容体と血管新生	谷戸 正樹
4	視覚路の解剖と機能	谷戸 正樹
5	機能的MRIの基礎と応用	長井 篤
6	脳波による認知機能の可視化	長井 篤
7	近赤外線スペクトロスコピーと精神疾患	稲垣 正俊
8	線条体ドーパミントランスポーターと精神疾患	稲垣 正俊